みずほCustomer Desk Report 2018/02/23 号 (As of 2018/02/22)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.54 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.59	1.2281	132.17	1.3906	0.7797
SYD-NY High	107.77	1.2352	132.25	1.3989	0.7860
SYD-NY Low	106.60	1.2260	131.29	1.3858	0.7790
NY 5:00 PM	106.75	1.2331	131.65	1.3955	0.7845

NY DOW	24,962.48	164.70	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,210.09	▲ 8.14	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,703.96	2.63	米国2年債	2.2520	▲1.61bp
日経平均	21,736.44	▲ 234.37	米国5年債	2.6578	▲2.72bp
TOPIX	1,746.17	▲ 15.44	米国10年債	2.9180	▲3.30bp
ｼｶｺﾞ日経先物	21,715	▲150.00	独10年債	0.7050	▲1.55bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,252.39	▲29.18	英10年債	1.5470	▲0.65bp
DAX	12,461.91	▲8.58	豪10年債	2.8445	▲1.50bp
ﾊﾝｾﾝ指数	30,965.68	▲ 466.21	USDJPY 1M Vol	9.58	0.43%
上海総合	3,268.56	69.40	USDJPY 3M Vol	8.94	0.04%
NY金	1,332.70	0.60	USDJPY 6M Vol	9.00	0.13%
WTI	62.77	1.09	USDJPY 1M 25RR	-1.38	Yen Call Over
CRB指数	195.27	1.10	EURJPY 3M Vol	9.23	0.20%
ドルインデックス	89.75	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	9.18	0.07%

東京

前日海外時間のFOMC議事要旨公表後にﾄﾞﾙ買いが強まったことを受けて、朝方のﾄﾞﾙ円相場は107円台後半での底堅い推移が続いたが、その後やや水準を下げ東京時間のﾄﾞﾙ円は107.59ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。一時107.77まで上昇する局面も見られたが、日経平均株価の軟調推移を背景にﾘｽｸ回避的な円買いが進行する展開となると一時107.16まで下落。その後は日経平均株価が下げ止まったこと等からﾄﾞﾙ円もやや水準を戻す展開となるも戻りは鈍く、107円台半ばでは上値重く推移。結局、107.44ﾚﾍﾞﾙで海外へ渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、107.44ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ﾌﾞﾗｰﾄﾞ・ｾﾝﾄﾙｲｽ連銀総裁が、「速すぎる利上げﾍﾟｰｽは経済成長を阻害する」と発言し、市場で加熱する利上げ期待をけん制すると、米債利回りが低下。107.04まで売られた後、107.04ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは1.3897ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。英第4QGDP改定値が、前年比+1.4%と市場予想(+1.5%)を下回ったことで、1.3858まで下落し、1.3882ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 山本)

ニューヨーク

NY時間のﾄﾞﾙ円は107.04ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、米新規失業保険申請件数が市場予想比良好な結果となったものの反応は限定的で、前日の反動等からﾄﾞﾙ売りが優勢となり、ﾄﾞﾙ円は106.65まで下落する。その後はﾄﾞﾙが一旦買い戻される展開に107.07まで戻すが、再びﾄﾞﾙ売りが優勢となり、107円を割り込む。午後に入りﾊｾｯﾄ大領領経済諮問委員会委員長の「ﾄﾞﾙのﾎﾟﾘｼｰはこの政権下では変わっていない」との発言が伝わるが、ﾄﾞﾙ円の反応は限定的。終盤に掛けては、翌日にFedが今年の金融政策ﾚﾎﾟｰﾄを議会に提出することから、様子見ﾑｰﾄﾞとなり、106.75ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。尚、ﾊﾟｳｴﾙ新議長の下院金融ｻｰﾋﾞｽ委員会での証言は28日の東部時間10時から開始される予定になっている。一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙはECB議事録で数人のﾒﾝﾊﾞｰが量的緩和のﾊﾞｲｱｽを緩和することを望んでいることが明らかになり、ﾕｰﾛ買いが強まり1.2308まで戻し、1.2271ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、ﾄﾞﾙ売りが優勢となり1.2352まで上昇する。その後一旦1.2315まで反落するが、終盤に掛けては狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続き、1.2331ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:森谷・森谷

【昨日の指標等】

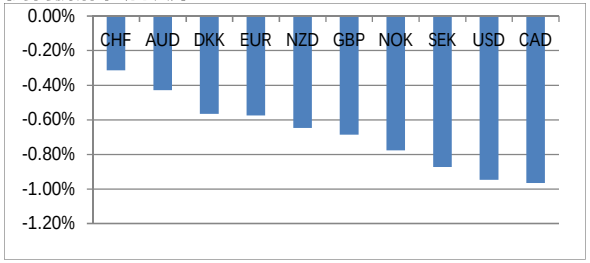
Date	Time		Event		結果	予想
2月22日	18:00	独	IFO指数(企業景況感/期待/現況)	2月	115.4/105.4/126.3	117.0/107.9/127.0
	18:30	英	GDP(前期比/前年比)	4Q	0.4%/1.4%	0.5%/1.5%
	21:30	欧	ECB議事要旨公表	-	-	-
	22:30	米	新規失業保険申請件数	-	222K	230K
2月23日	2:10	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演		「正常化を進めているさなかにある」	
	5:30	米	カプラン・ダラス連銀総裁 講演		「18年は3度利上げが依然適切なケース」	

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
2月23日	8:30	日	CPI/コアCPI/コアコアCPI (前年比)	1月	1.3%/0.8%/0.3%	1.0%/0.9%/0.3%
	16:00	独	GDP(前期比/前年比)・確報	4Q	0.6%/2.9%	0.6%/2.9%
	19:00	欧	CPI(前月比/前年比)	1月	-0.9%/1.3%	0.4%/1.4%
2月24日	0:15	米	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率 (日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.40-107.40	1.2280-1.2380	131.00-132.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は下落する展開となった。昨日相次いだFED高官による講演では特段目新しさを感じさせる発言はなかったが、FOMC議事要旨公表後の米金利上昇の動きが一服したことを背景に全般的にドル売りが進行。一時106.60まで下落する展開となった。本日のドル円相場は上値の重い展開を予想する。今月に入ってからの相場を振り返ると米金利上昇局面においてもドル買いの反応は見られづらくなっている状況。株価の荒い値動きに対する警戒感もいまだに拭いきれない状況が続いており、引き続きドル/円は上値の重い展開が継続すると予想する。